

# 森づくり サポーターニュース

県 営 都 市 公 園  
びわこ地帯市民の森

びわこ地帯市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727  
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312  
biwako@morigidukuri.info <https://www.morigidukuri.info>

Vol. 82

令和4年9月10日号

## より豊かな生態系の森を目指して（2）

里の森北駐車場西側に、全園で最後に植樹した木々は今年で丸8年が経ちました。樹齢は10年で樹高はクヌギで8m程になっています。つどいのゾーンに最初に植えた木々は丸20年、樹齢は22年になりました。こちらは幹の直径も随分太くなり、今後は手ノコでの間伐が困難な木々が増えています。公園の木々も四阿や橋、園路、水路等と同様に施設の一つです。間伐や枝打ちをしながら、大切に育てていかなければなりません。

施設点検をしていた時に、森の植樹地の中に足を踏み入れました。足元は落ち葉が腐葉土となり、その上にまた落ち葉が折り重なってふわふわの状態です。あちこちにサルノコシカケをはじめ数種類のきのこが生えています。思わず撮ってしまった写真を載せました。表土（A層）は、キノコなどの菌類や地面の中にいるミミズ、甲虫（こうちゅう）の仲間などの力で腐葉土となり、厚くなっています。



サルノコシカケ科のキノコ

生き物調査は、生物多様性の保全調査が専門の業者に依頼しています。今年度は昆虫などの節足動物の調査です。施設点検と夏の調査の日が重なり、ふれあいゾーンで調査員に出会いました。捕虫網で草むらの中のいろんな虫が居そうなところをすくっていました。この日は、奈良の正倉院の国宝「玉虫厨子」にもその羽(はね)が使われているタマムシがいたとのことで大変驚きました。先の点検では水辺でカワセミ(翡翠)を見ました。よく見る方もおられるかも知れませんが、私はこの森では初めてでした。また、以前に来館者でトンボに詳しい方がおられて、センターの前でオニヤンマによく似た「ウチワヤンマ」(尾の先に近い所にウチワが付いているように見える)を見つけ追いかけていました。私はその時初めてその名前を知りましたが、以前から知らずに見かけていたかも知れません。調査員とは、ウチワヤンマが話題になり、森で見かけたとのことでした。



タマムシ



カワセミ



ウチワヤンマ(サナエトンボ科)

菌類や土壤動物が分解者になり、増え、生産者(植物)、消費者(動物)の食物連鎖が繰り返されることにより、さらに豊かな生態系になっていくことを期待したいと思います。